

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27010	施策名		太陽熱エネルギー活用型住宅の技術開発			
新規／継続	新規	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	本事業では、無尽蔵かつクリーンなエネルギーであり、またエネルギー変換効率が高い太陽熱エネルギーに着目し、これを住宅内に効率的に取り込み、蓄熱し、夜間や直接太陽光が当たらない場所でも暖房等に活用する上で必要となる、断熱材及び蓄熱材等の新たな部材等の技術開発を行うと共に、これらを効果的に用いた太陽熱エネルギー活用型住宅の技術開発を行い、家庭部門における更なる省エネ化を図る。						
達成目標及び達成期限	平成27年度までに、太陽熱エネルギーの活用により家庭(住宅)における暖房等の消費エネルギー量の半減を達成するための部材等の開発を行う。						
研究開発目標及び達成期限	・高断熱性能を有した状態を長期(30年以上)維持可能な断熱材の製造技術を確立する。(熱伝導率$\leq 0.01\text{W/m}\cdot\text{K}$)(2015年度) ・蓄熱性能を有した状態を長期(30年以上)維持可能な蓄熱材の製造技術を確立する。(厚さ$\leq 15\text{mm}$)(2015年度)						
23年度の研究開発目標	本施策により平成23年度中に、 ・太陽熱エネルギー活用住宅を構成する断熱材及び蓄熱材等に用いる素材等の選定及び物性等を把握する。 ・断熱材及び蓄熱材等の技術開発目標を達成する上で解決しなければならない技術的課題を抽出した上で、その解決手法を提案する。						
施策の重要性	我が国の温室効果ガス排出量の削減を進めていくためには、温室効果ガスの排出が増加傾向にある家庭部門における更なる省エネに向けた取組が必要不可欠である。本事業による成果は、家庭部門における省エネ化に資するものであり、我が国が温室効果ガスの削減を進めていく上で、重要な施策の1つである。						
実施体制	事業実施主体は、NEDOが行う公募により決定予定。なお、本事業のプロジェクト管理はNEDOで行い、事業実施主体は住宅メーカー又は各部材メーカーを想定。また、得られた成果は、住宅メーカー又は各部材メーカーが実用化・普及の担い手となる予定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				250			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	・研究開発費:245 【主な内訳】 - 装置等関係費:115 - 人件費:80 - その他経費:50 ・研究開発管理費:5 —						
期間	H23～H27			資金投入規模(億円)		11	
これまでの成果(継続のみ)	—						
社会情勢・技術の変	—						

化(継続のみ)			
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	—
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	現在NEDOにおいて対応を検討中		